

地方協会だより

公益財団法人
沖縄県市町村振興協会

I これまでの経過

ハイサイ！ ハイタイ！

当協会は、昭和54年4月1日の設立以来、「市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）」の収益金を活用した資金貸付事業をはじめ、基金の運用益を活用した様々な事業を実施してまいりました。

また、平成13年度からは新設された「新市町村振興宝くじ（オータムジャンボ宝くじ）」の収益金を、全額市町村に交付しています。

そして、平成24年4月1日には「公益財団法人」として新たにスタートをいたしました。

平成27年度からは、県に委託していた市町村職員研修を当協会の直営とし、協会内に「沖縄県市町村職員研修センター」を設置し、研修事業の充実に努めております。

II 協会の概要

1 関係市町村数（平成27年4月1日現在）

41市町村（11市11町19村）

2 役員等

評議員5名、理事6名、監事2名

3 職員数（平成27年4月1日現在）

11名（うち、研修センター6名）

4 基金等の状況（平成27年3月末現在）

- | | |
|-------------|---|
| (1) 基本財産 | 10,000,000円 |
| (2) 基金積立資産 | 1,759,257,403円 |
| (3) 長期貸付金残高 | 13,685,992,060円（全国市町村振興協会資金1,811,818,344円を含む） |

III 事業の概要

1 資金貸付事業

市町村の災害時における緊急融資事業及び災害防止事業並びに緊急に整備を要する施設等整備事業に対し、資金貸付を行っています。

貸付条件

借入期間	貸付利率	償還方法
12年以内（うち据置期間2年以内）	年3.0%とする。ただし、貸付日現在の財政融資資金貸付利率が3.3%未満の場合は、その利率から0.3%を減じた利率を適用する。（下限貸付利率は0.1%）	半年賦元金均等償還
15年以内（うち据置期間3年以内）		

貸付実績（平成17年度～平成26年度）

（千円）

年度	貸付団体数 (件数)	貸付金額	貸付残高	当協会資金		全国協会資金	
				当協会資金	全国協会資金	当協会資金	全国協会資金
平成17年度	16 (45)	1,670,500	475,710	460,710	15,000		
平成18年度	7 (25)	856,300	379,000	359,000	20,000		
平成19年度	15 (33)	2,296,600	1,390,945	1,140,612	250,333		
平成20年度	14 (39)	2,593,900	1,763,008	1,408,008	355,000		
平成21年度	14 (66)	3,035,200	2,365,218	1,794,218	571,000		
平成22年度	15 (51)	2,157,500	1,876,522	1,479,370	397,152		
平成23年度	9 (28)	1,285,700	1,189,758	1,006,425	183,333		
平成24年度	6 (18)	1,025,000	1,024,700	1,024,700	—		
平成25年度	9 (19)	1,562,900	1,562,900	1,562,900	—		
平成26年度	8 (15)	1,317,000	1,317,000	1,317,000	—		



那覇市 まあじ 真地団地すべり防止対策事業（平成16年度長期貸付）



北谷町 ちやたんちようかみせい 上勢保育所建設事業（平成25年度～平成26年度長期貸付）

2 市町村振興宝くじ交付金の交付事業

(1) オータムジャンボ宝くじ配分金交付事業

平成13年度に創設された「オータムジャンボ宝くじ」の収益金を、地方財政法第32条に規定する事業の財源として活用するため、全額を県内市町村に交付しています。

配分基準：均等割1/3、人口割2/3

(2) サマージャンボ宝くじ基金交付金交付事業

平成20年度から「サマージャンボ宝くじ」の収益金の20%を、市町村へ交付しています。交付基準・用途は、オータムジャンボ宝くじ配分金と同様です。

3 市町村職員等研修事業及び研修助成事業

(1) 市町村職員研修事業

当協会の市町村職員研修センターでは、平成27年4月より、県内市町村職員の集合研修機関として、市町村職員の資質と能力の向上を目指した研修を実施しています。

研修内容は、各階層の職員に必要とされる能力を養う一般研修と自ら進んで能力開発を行う特別研修となっています。



(沖縄県市町村職員研修センター)



(市町村新採用職員研修)

(2) 市町村職員研修派遣助成

市町村職員が専門的知識や技術を習得することにより、より高度な住民サービスの提供を図るため、市町村アカデミー並びに国際文化アカデミーが実施する研修に職員を派遣した市町村に対し、旅費及び受講経費の一部を助成しております。

4 市町村等が行う市町村の振興のための助成事業

(1) 地方四団体に対する助成

市町村の健全な発展と県民福祉の増進に資するため、市長会、市議会議長会、町村会及び町村議会議長会が実施する市町村の振興並びに地方自治の振興に関する事業に対し、助成を行っています。

(2) 一般財団法人地域活性化センターの年会費に対する助成

県内市町村の地域振興を図るため、活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため設立された同団体の年会費の市町村負担額の助成を行っています。

5 市町村の振興に関する情報提供事業

(1) 「沖縄県市町村概要」の発行

県内市町村の組織や行財政の各種データを掲載した市町村概要を県の協力のもと発行しています。

(2) 「すぐに使えるウチナーグチ」

「残そう使おうふるさとのことば」を合言葉に、当協会は「すぐに使えるウチナーグチ（沖縄の方言）」の冊子を街頭にて10,000冊配布しました。



ハイサイ(男性)／ハイタイ(女性)

「こんにちは」

メンソーレ

「いらっしゃいませ」

ニフェーデービル

「ありがとうございます」

クワッチーサビラ

「いただきます」

クワッチーサビタン

「ごちそう様でした」

6 宝くじ広報宣伝事業

サマージャンボ宝くじ及びオータムジャンボ宝くじの販売促進を図るため、街頭でのPRガール隊によるキャンペーン、市町村広報紙へのPR掲載依頼、テレビ・ラジオCM、地元新聞紙面広告、ポスターなどを活用した広報活動を行っています。

IV 今後の運営

地方分権の推進や行財政改革に取り組む地方自治体は、国際化や高度情報化、少子高齢化対策、環境問題への対応など、様々な課題を抱えています。

このような状況の中で、当協会は、市町村の貴重な財源となる宝くじの販売増進に努めるとともに、県民福祉の向上と地域の振興発展のため関係機関とも協力し、県内離島をはじめとする全市町村の支援のため、各種事業の充実強化に取り組んでまいりたいと考えています。

今年度はまた、新しい試みとして「宝くじ社会貢献実証実験事業」として、障がい者に就労機会を提供する民間事業者を支援する事業を行います。